

製造業のビジネスチャンスが見える  
モノづくり最新情報サイト  
じゃぱんお宝にゅ〜す  
<https://japan.otakaraneews.com>

# じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つける  
製造業応援サイト  
じゃぱんお宝WEB新聞  
最新情報満載！好評配信中！

## KOMATSU 電動化建機の市場形成を目指す

# リチウムイオンバッテリー搭載13トンクラス 新型電動ショベル PC138E-11 を国内市場で レンタル機として2024年1月以降に導入開始

### 2050年にカーボン ニュートラル実現

コマツ(社長：小川 啓之氏)は、リチウムイオンバッテリーを搭載した13トンクラスの電動ショベル「PC138E-11」を、国内市場でレンタル機として2024年1月以降に導入を開始する。

国内市場への導入後は欧州市場にも導入することを予定している。

電動化市場がまだ形成されていない建設機械において、製品ラインナップを拡充し顧客ニーズに応えることで2050年のカーボンニュートラル実現へ向けた早期の市場形成を目指していく。

### 新型電動ショベル 「PC138E-11」

新型電動ショベル PC138E-11は、

大容量のリチウムイオンバッテリーを搭載し、電動コンポーネントとバッテリーの冷却システムを集約することで、後端回転半径を抑えながらも長時間稼働を実現した。

将来電動化市場が形成されることが見込まれる各地域で、稼働条件や電源環境などが異なる様々な利用者にレンタル機として使用してもらうことで、環境性や安全性を実感してもらうと共に、利用者の声や知見を蓄積し、電動化市場の形成につなげていく。

### サステナブルな 未来を次世代へ

コマツは2023年度を電動化建機の市場導入元年と位置付けており、今回の市場導入はその第四弾となる。

油圧ショベルは建設機械の中でも汎用性が最も高く、取り分け13トンクラ

ス機は、都市土木など比較的狭い現場を中心に幅広い現場や用途で使用されることから、当該機の市場導入をきっかけにより広範な市場ニーズを開拓し、電動化市場の形成を目指す。

同社は中期経営計画「DANTOTSU Value – Together, to “The Next” for sustainable growth」に掲げている、ダントツバリュー(収益向上とESG課題解決の好循環を生み出す顧客価値の創造)を通じて、未来の現場に向けた次のステージに踏み出し、サステナブルな未来を次の世代へつないでいくため、新たな価値創造を目指していく。

### 新型電動ショベル PC138E-11の特徴

#### ■環境性・経済性

PC138E-11はバッテリー駆動式で人と作業環境にやさしい排気ガスゼロを

実現した。

バッテリー駆動式のために排気ガスがまったく発生せず、クリーンな作業環境を実現する。

車両周辺の作業員や樹木にやさしく、屋内工事や都市部での工事など、さまざまな現場で幅広く活躍する。

#### ■快適性・安心

PC138E-11は大容量リチウムイオンバッテリー搭載で長時間の稼働と車体のコンパクト化を実現した。

225kWhのリチウムイオンバッテリーを搭載しており長時間の稼働が可能。長時間の稼働と車体のコンパクト化を両立することで、より幅広い現場での稼働を実現する。

また、静音性に優れた電動モーターで車体騒音・周囲騒音を大幅低減した。

動力源はモーターのため、エンジンによる騒音が発生しない。

作業中でもオペレーターが周囲の作業員とコミュニケーションをとりやすく、安全で的確に作業が行える。

さらに車体振動や車体からの発熱量低減で、快適な作業環境を実現した。

エンジンがないため、機械周辺が熱くならず、また、オペレーターに伝わる振動が大幅に改善された。

これにより、作業中のストレスや疲労を軽減でき、快適に作業が行える。

#### ■安全性・信頼性・整備性

PC138E-11は安全で容易な日常点検を実現した車体構造を実現した。

日常点検部と高電圧部を完全に分離しており、高圧電源を気にせずに安全に日常点検を行える。

また、エンジンや燃料に関係する点検項目が無いため、日常点検や定期メンテナンス項目が大幅に削減された。

●写真は、リチウムイオンバッテリー搭載13トンクラス 新型電動ショベル「PC138E-11」

(※資料提供：コマツ)

